授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
地域・在宅看護論実習	3年次	後期	3	120	有

担当教員	西村　禎子
目的	地域で生活している在宅療養者（および家族）への理解を深め、安全・安楽に自身の望む生活を送ることを支える看護の実際を学ぶ。
目標	1.　療養者（および家族）の生活上の課題や必要な支援について理解できる。 2.　療養者（および家族）のケアニーズに応じた看護の実際を知る。 3.　療養者（および家族）の望みを中心に置いた看護計画が立案できる。 4.　療養者（および家族）をサポートするチームケアの実際が理解できる。 5.　療養者（および家族）をサポートするチームの一員として、他者を尊重した適切な態度・言動がとれる。

内容

日	内容
1	学内オリエンテーション（実習目的・目標・方法・展開・施設の概要等） 学内演習（知識・技術） 臨地オリエンテーション、情報収集
2	訪問看護ステーション実習 （情報収集、アセスメント、看護実践）
3	
4	
5	
6	学内演習（アセスメント、思いや望みを尊重した看護課題の抽出、技術練習、文献検索）、中間評価面接、看護計画立案
7	訪問看護ステーション実習 （情報収集、アセスメント、立案した看護計画に基づいたケアの実践）
8	
9	
10	
11	
12	
13	まとめの会（臨地）、計画に基づいた看護ケアの実施、評価
14	学内発表会準備
15	学内発表会、記録提出、最終評価面接

履修条件	2年次すべての単位を修得したもの
評価方法・基準	実習要綱に定める。